

JUNKO

Association

コロナ禍を経て2年ぶりに実現したベトナム派遣、
支援の必要性和大切さを再確認した一年。





CONTENTS



<p>3 JUNKO Association が掲げる三つの行動指針</p> <p>VISION・MISSION・PHILOSOPHY</p> <p>4 ABOUT US</p> <p>VOICE 学生代表からのごあいさつ</p> <p>6 HISTORY</p> <p>VOICE 組織を支える社会人からのごあいさつ</p> <hr/> <p>8 VIETNAM</p> <p>1. 政府機関への訪問 2. JUNKO 像目録式 3. 学校交流 4. 現地協力者とのミーティング</p> <p>voice</p> <hr/> <p>12 MYANMAR</p> <p>1. ベンバル企画 2. 古今日種 3. タンリン僧院 4. 図書館企画</p> <p>voice</p> <hr/>	<hr/> <p>16 BUSINESS</p> <p>1. 買い付け 2. ネット販売 3. 協力店事業</p> <p>voice</p> <hr/> <p>19 VOICE</p> <p>学生からのご挨拶</p> <p>20 SUPPORT</p> <p>支援のお願い</p> <p>22 JUNKO Association を支えてくださった</p> <p>団体企業の皆様</p> <p>23 活動計算書</p> <p>貸借対照表</p> <p>財務諸表の注記</p> <p>財産目録</p> <p>監査報告書</p>
---	---

JUNKO Association が掲げる 3 の行動指針

Vision

**子どもたちが成長し
活躍する社会を目指します**

JUNKO Association は、世界の子どもたちが人として十分に発達することで彼ら自身が持つ潜在能力を将来において存分に発揮できる社会を目指します。

Mission

異文化理解の促進

日本の人々に開発途上国の実情や抱える諸問題を伝え、異文化理解や相互扶助に対する理解を促進する活動を実施します。

Mission

教育環境の創造

開発途上国の子どもたちがよりよい教育を受けられる環境を創造します。

Mission

子どもたちの視野が広がるような支援の実施

開発途上国の子どもたち自身の学ぼうとする力や意欲を引き出し、子どもたちの視野を広げるような支援活動を実施します。

Philosophy

**教育の機会に恵まれない
子どもたちのために**

JUNKO Association は、世界の教育の機会に恵まれない子どもたちの成長（人間的な発達）を願って活動します。

Philosophy

学生の創造と実践の場

JUNKO Association は学生のこころさし・創造力・行動力を尊重し、活動を通して学生たちの能力や視野を広げることを期待しています。

ABOUT US

どんな団体？



ベトナムやミャンマーに住む子どもたちの教育支援に 明治学院大学の学生が中心に取り組むNPO法人です

当法人は、ベトナム、ミャンマー、ビジネスの3つのプロジェクトから成り立っています。ベトナムおよびミャンマープロジェクトは、例年、年に2回現地を訪問し、教育支援・交流活動を行っています。

ビジネスプロジェクトは、ベトナムやミャンマーで買い付けた雑貨を日本に持ち帰り、学園祭、イベントなどで販売し、日本にある雑貨店に卸しています。ビジネスプロジェクトで得た収益金や寄附金は、ベトナムとミャンマーの子どもたちの教育支援のために使われるとともに、一部は当法人の運営資金となります。

また、各プロジェクトの活動に加え、広報会員部が日本国内においてSNSなどを用いて当団体の活動を広く知っていただき、寄附をお願いする広報活動を行っています。

2022年度は2年半ぶりにベトナムに夏期短期派遣を行うことができ、子どもたちや現地の協力者の方々と直接お会いして活動を行いました。今後もベトナムとミャンマーの子どもたちのために、私たちができることを模索し続けながら活動を行っていきます。

写真：ベトナム KPA Kolong にて
子どもたちと交流する学生



写真左：ベトナム KPA Kolong にて

写真右：ミャンマータンリン僧院の子どもたち

Voice

学生代表からのごあいさつ

よりベトナム、ミャンマーに還元できる活動を

ベトナムでは、2年半ぶりの短期派遣と高橋淳子記念石碑の目録贈呈式を実施しました。高橋淳子記念石碑の設立により、淳子さんの遺志を末永くベトナムの地に残し、当法人と交流校、日本とベトナムのさらなる友好関係を築くことができました。ミャンマーでは、タンリン僧院学校への寄附の実施、現地とのオンラインミーティング、日本のペンパル提携校ではワークショップを行い、来年度に向けて日本語教育を企画しました。ビジネスでは、オンラインストアを運営しながら、ベトナムでの買い付け、OBOG会での対面販売等を再開しました。

タンリン僧院学校へ寄附を募った際に、OBOGや江橋先生をはじめ江橋ゼミ生など多くの方にご支援いただきました。また、前述の目録贈呈式ではベトナム

の Nam 先生や今年退任された Ha 校長先生、Tien さんをはじめとした明治学院大学留学生など、多くの方の協力により、実現することができました。私たちの活動を支えていただいている皆様に改めて感謝申し上げます。日本国内だけでなく現地にいる協力者の多さに衝撃を受けたと同時に、多くの方からいただいた支援、応援、期待を、当法人が責任を持って現地に還元していることを、実感した1年となりました。

2023年度はコロナ禍で築いた成果とコロナ禍前の活動を掛け合わせ、よりベトナムとミャンマーに還元できるようメンバー一同精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



2022年度学生代表
国際学部国際学科3年

赤根 夏実

子どもたちの将来に繋がる活動を目指します



2022年度学生副代表
国際学部国際学科3年

新島実梨

「1年あっという間だったな」これが任期を終えて一番最初に思ったことです。副代表って難しいですね。今年度は、副代表として何ができるか、自分にできることは何かを常に考えていた1年だったように思います。代表や主任がカバーしきれない部分を補い、代表と二人三脚で頑張ることを意識してきました。しかし、今年の執行部メンバーはとても頼り甲斐があり、サポートよりも、「皆に負けないように私も頑張ろう」と思わせてくれる、各々の魅力を最大限に活かした素敵リーダーたちでした。任期中は、NPO業務の効率化や各プロジェクトの活動透明化に注力し、今後安定的かつ継続的な活動を行っていくための基盤を整えられたと感じています。

今年度の1番の成果は、2年半ぶりのベトナム夏期短期派遣です。コロナ禍で入学してからこの日まで、

先行きが見えない中でモチベーションを保ち、活動を続けていくのは正直、不安や難しさがありました。ですが、JUNCO Schoolで淳子さんにご挨拶して、やっと「ベトナムで現地協力者と共に活動していること」を実感できました。渡航が可能になるまでの間は、新しい支援の形やコアな活動を考え直す準備期間で、足踏みをしているような状態でしたが、今年度で一步踏み出したことは大きな進歩だと感じています。自分たちの目で現地を見て、子どもたちと交流をしたことで、過去の資料と先輩の記憶を頼りに作ってきた企画に直近のニーズを反映できるようになりました。今後は例年通り、定期的に短期派遣を実施できる可能性が高いため、ニーズを汲み取り、より子どもたちの将来に繋がる活動を行っていきます。

JUNKO Association は一人の女子学生、高橋淳子さんの想いから始まりました

1993年夏、当時大学3年生だった高橋淳子さんはベトナムを訪れ、将来は途上国の子どもたちの役に立ちたいという思いを持ちましたが、その冬に不慮の事故で急逝してしまいました。彼女は亡くなる前にこのような文章を残しています。

— 今の私には経済的に彼らの助けになることは出来ないが、ベトナムにいる友だちのためだけではなく途上国で生活する多くの人びとが健康的に暮らし、十分な教育を受けられるような体制を、援助という範囲だけでなくあらゆる面からサポートできるような、そしてそのように考えられる余裕のある人なり世界なりを創造していかなければならないと思う —

この思いを知った淳子さんのご両親、ゼミの先生、現地の人々などが協力し、1995年にベトナム中部のダナンに JUNKO School が設立されました。同時に、ゼミの仲間や後輩によって JUNKO School をはじめ、ベトナムの子どもたちの支援を目的とした JUNKO Association も誕生しました。2007年には特定非営利活動法人(NPO法人)となり、現在はベトナムだけでなく、ミャンマーにも活動の領域を広げています。



写真：淳子さんの想いから設立されたベトナム JUNKO School。現在も交流は続いている

1995

JUNKO Association 発足

ベトナムに JUNKO School 開校

1998

ビジネスプロジェクト開始

2007

NPO 法人格を取得

2022

コロナ後初ベトナムへの派遣再開

JUNKO School に記念碑建設

1997

ベトナムプロジェクト
ベトナムへの学生短期派遣開始

2001

ミャンマープロジェクト
ミャンマーへの学生短期派遣開始

2020

JUNKO School 25 周年
外務大臣表彰を受賞

表彰



2019 明治学院大学ボランティアファンド学生チャレンジ受賞
ミャンマー全国紙「The Mirror」に掲載
ベトナムのテレビ放送「VTV4」から取材を受ける

2020 かながわボランティア活動奨励賞受賞
令和二年度外務大臣表彰 受賞
第6回学生団体総選挙ボランティア
医療福祉部門グランプリ 受賞

2021 東京キワニスクラブ第36回青少年教育賞優秀賞受賞

収益



収益・・・ 3,587,503 円
事業収益・・・ 186,880 円
受取寄附金等・・・ 3,319,875 円
その他・・・ 80,748 円

支出・・・ 2,581,645 円
事業費・・・ 2,193,105 円
管理費・・・ 388,540 円
総事業数・・・ 3事業
総会員数・・・ 75人

Voice

組織を支える社会人の声

現地を理解し、考える JUNKO Association の支援

新型コロナの影響が終わり切らない中でしたが、2022年度、2年半ぶりとなるベトナム短期派遣を再開できました。ご理解、ご協力いただいた皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

現地に行けなかった間は、現地協力者に頼りながら何とか支援活動を続けてきました。しかし、現地の子どもたちに会えないことは、支援を続ける側の学生メンバーにとっても辛いことだったでしょう。様々な思いを抱えながら、ようやく子どもたちに会えたことは、これからの活動の励みになったことと思います。一方、ミャンマーは厳しい環境が続いており、短期派遣は

再開できませんでした。しかし、現地協力者を通じて財政的に苦しいタンリン僧院学校の状況を知り、皆様のご協力で寄附を行うことができました。同院からも感謝の言葉をいただけただけでなく、これからの活動にも繋がりそうです。

現地の状況を理解し、私たちができることを考える、たとえ現地に行けなかったとしても、それは変わらないと思います。皆様のご支援をいただきながら、これからもベトナムとミャンマーの子どもたちのために活動していきます。



理事長

小島 英太郎

サポートへの感謝、支援の継続

JUNKO Association が出来てもう 27 年になります。学生主体の海外活動がここまで長続きできたのは現地での沢山の人によるサポートがあったからです。ベトナムは経済発展により校舎も教育環境も充実しました。長年に渡る活動により日本に対する親密さは増していますが、交流の視点が高度にならざるを得なくなっています。しかし若い学生のベトナムへの理解が進めば新しい地平が切り拓けるでしょう。今回 JUNKO School に高橋淳子さんの肖像を含

む学校設立由来碑の設立の許可を得て、着手できたのは大きな成果です。

残念なのはミャンマーです。レバダンでは町ぐるみで交流してきましたが、軍事政権との内戦状態になり訪問も連絡も厳しくなっています。活動基盤は十分あるので早く平和が来て活動が開始できることを期待しています。



副理事長

松岡 良樹

VIE TNAM



設立以来 27年続く関係と支援。今年は2年ぶりに派遣が実現しました

JUNKO Associationはベトナムで27年間活動を続けてきました。子どもたちに学校に行く楽しさや、勉強や将来に対して関心を持ってもらうことを目的に活動しています。2022年度は2年ぶりに現地への派遣が実現しました。

対象地域



Dien Phuoc 地域

JUNKO School 小学校
 Nguyen Tanh Y 小学校
 Tran Quy CAP 中学校
 Hoang Dieu 高校

Hiep Duc 地域

Song Tra 村
 Phoc Gia 村

KPA Kolong 小学校本校
 KPA Kolong 小学校分校 1
 Song Tra 村民族半寄宿舎中学校

2022年度ベトナムプロジェクトメンバー



学生 **18** 人

2022年度ベトナム派遣



学生 **17** 人

ベトナムプロジェクトより・・・ 8人
 ミャンマープロジェクトより・・・ 5人
 ビジネスプロジェクトより・・・ 4人

1 政府機関への訪問

ダナンの政府機関を訪問し、お話を伺いました

今回の短期派遣では、在ダナン日本領事館、Dien Phuoc と Hiep Duc の各人民委員会、Quang Nam 省教育事務所に訪問し、ご挨拶をさせていただきました。笑顔で快く私たちを迎え入れてくださり、たくさんの貴重なお話を伺うことができました。在ダナン日本領事館への訪問では、JUNKO Association がベトナムで27年間活動を続けてきた歴史の重さを感じました。Dien Phuoc・Hiep

Duc の人民委員会、教育事務所では、地域や学校の様子や訪問できなかった期間の変化などを直接伺うことができ、子どもたちのためにもっと良い活動をしていきたいと身の引き締まる思いでした。今回の訪問で得られた情報をもとに、より現地に寄り添った支援を届けるために、目標や企画内容を再考していきます。

写真：政府機関訪問時の様子



2 JUNKO像目録贈呈式

JUNKO School に創設 25周年を記念した碑を設置します

JUNKO School が創立されてから27年目となる2022年9月5日に、JUNKO 像目録贈呈式を行いました。コロナの影響で2年間延期になっていましたが、今年ようやく行うことができました。JUNKO 像は JUNKO School 創立25周年を記念し、設立のきっかけとなった高橋淳子さんの功績を JUNKO School の皆さんに伝えることができました。今回は建設日程の関係で目録のみの贈呈となりましたが、記念碑の完成後は校門の横に設置し、たくさんの方に見ていただけるようにしたいと考えてい

ます。目録式では、高橋淳子さんの父である高橋廣太郎氏、高橋淳子さんの母校である吉祥女子高等学校、JUNKO Association 副理事長の松岡良樹、学生からの言葉を JUNKO School の皆さんに伝えることができました。今回ほとんどのメンバーが初めて JUNKO School を訪れ、先生や子どもたちに会うことができました。27年間もの間、淳子さんの想いが JUNKO School の先生方をはじめ多くの方々によって支えられ引き継がれてきたことに感極まりました。

写真上：目録贈呈式の様子

写真下：JUNKO Association の学生が壇上で直接言葉を伝えました



3 学校訪問

対象校を訪れ、歌や踊りなどで交流しました

Dien Phuoc 地域の対象校 (JUNKO School、Nguyen Than Y 小学校、Tran Quy CAP 中学校、Hoang Dieu 高校) 4 校を訪れました。対象校では校長先生へご挨拶した後、子どもたちと「幸せなら手を叩こう」を一緒に歌って踊り、浴衣や四季についての日本の文化紹介、校内の目視調査を行いました。校長先生へのご挨拶では、新型コロナウイルスの感染対策や、それに合わせた授業形態が確立されていることがわかりま

した。

交流を通して子どもたちが元気に交流に参加してくれて、来年度以降の企画実施に向けた関係性の構築ができました。また、Dien Phuoc の人民委員会と Quang Nam 省教育事務所の方と意見交換も行き、地域内の学校で密な情報共有をしていることや教員の高齢化と各家庭の経済状況に問題を感じていることなどがわかりました。



写真：JUNKO School に通う子どもたち



写真左：JUNKO School に通う子どもたち
写真右：KPA Kolong 本校での交流の様子



4 現地協力者とのミーティング

最高の友人に出会うことができました

今回の短期派遣では現地協力者のフック氏と、ダナン市内の大学生で組織するダナン・ジュンコ (以下、DNJK) のメンバーに直接会い、意見交換することができ、短期派遣の目的であった「関係性再構築」を達成できました。DNJK は私たちがダナンに到着した瞬間から温かく歓迎してくださ

り、私たちが有意義で充実した時間を過ごせるようにたくさんのことを用意してくださいました。言語や文化の壁を越えて、心強いチームメイトであり最高の友人になることができました。彼らのおかげで、私たちは無事にベトナム短期派遣を終えることができました。



写真：ダナン・ジュンコのメンバーとの交流の様子

Voice

「私たちにできること」は何かを考え、子どもたちに寄り添った支援を目指します。

2022 年度は約 2 年半ぶりにベトナムに渡航し、ようやく現地の子どもたちに会うことが出来ました。

それぞれのメンバーが、ベトナム都市部の発展と、それとは逆に現地の学校の厳しい現状を目にして、支援とはなんだろうと考える機会になりました。このような活動が現地で出来たのは、交流校の

先生方やフック氏、DNJK、明治学院大学の留学生の方など、たくさんの方の協力のおかげだと強く感じました。今年度築いた関係をさらに深め、国を超えた活動をしていきたいです。「私たちにできること」は何なのかメンバーと話し合い、今後も現地の子どもたちに寄り添った支援ができるよう、精進していきます。



ベトナムプロジェクト主任
国際学部国際学科 2 年

加藤小春

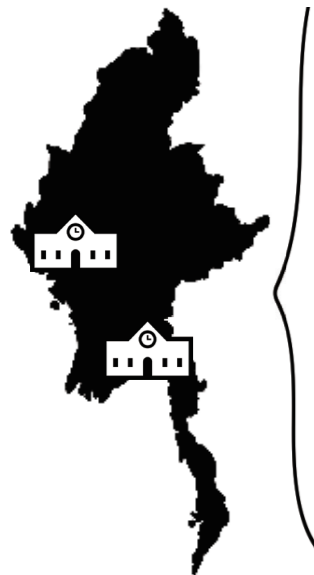
MYANMAR



タンリン僧院への緊急支援など、今できる支援の形を模索しています

現地からの「外国の風を吹かせて欲しい」という要望をきっかけに始まったミャンマーでの活動。教育支援、助成金、寄附、文化交流など多くの事業を展開しています。

対象地域



Bago Letpadan 地域

No.1 Basic Education High School
Boys Training school
ハンターイエ僧院孤児院

Yangon Tanlyn 地域

That Dhama Zaw Tika Yon Kyaun 僧院学校
(以下タンリン僧院学校と記載)

2022年度ミャンマープロジェクトメンバー

学生 22人



1 ペンパル企画

交流を通して、生徒たちの将来の可能性や選択肢を広げるきっかけを作る

本事業は日緬両国の中高生の手紙交換と、ミャンマープロジェクトメンバーによる日本の高校生へのワークショップを実施しています。しかし、昨年度に続き今年度も日本国内での実施のみとなりました。

今年度は「ミャンマーの課題（教育や貧困、情勢）についてアクションを起こしたいと考えるほどの自発性を引き出す」を目的にワークショップを実施しました。第一回目

のワークショップでは、ミャンマーの興味関心を引き出すことをメインにクイズや動画を通してミャンマーに楽しく触れてもらいました。そして第二回目では、ミャンマーの課題をテーマに現地の現状を知ってもらい、最後に「自分たちができること」を一緒に考えそれを実行することを目標とした内容になっています。



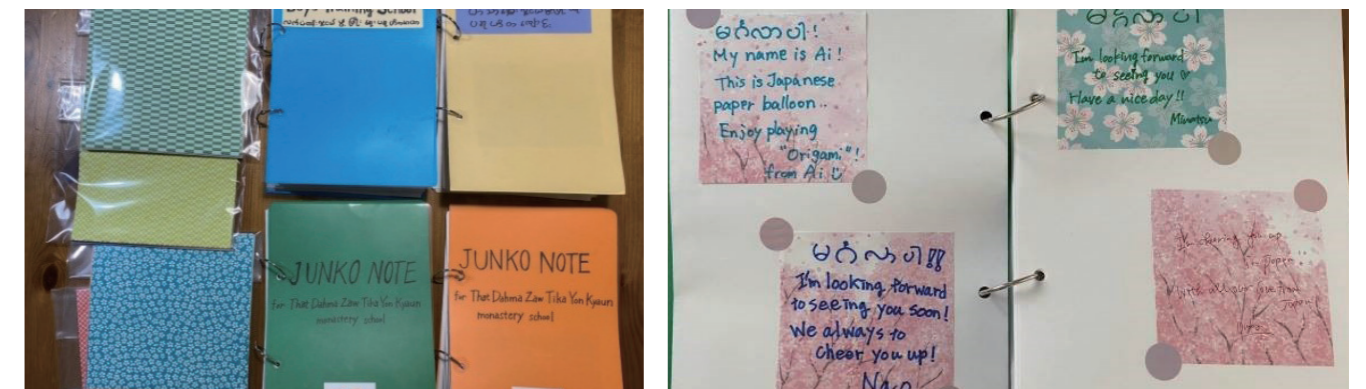
写真：ペンパル企画に参加する高校にて、交流後の様子

2 古今日緬企画

日本からミャンマーへの気持ちを届けたい

団体としてのミャンマー渡航が困難な中、子どもたちの不安を少しでも和らげ、日々の生活の中に希望や喜びを感じるきっかけになることを願い、手作りでJUNKO オリジナルノートを作成し現地へ届けました。“勉強”ではなく、“視野を広げる”ための工夫を凝らしたこのノートには、ミャンマー・プロジェクトメンバーひとりひとりからの手書きメッセージを載せてい

ます。さらに、子どもたち全員分の折り紙と見本を同封し、日本の伝統文化を実際に体験できるようにしました。また、子どもたちをはじめ現地の人々が元気に毎日を送ることができるよう、衛生知識を伝えるポスターも作成しました。プロジェクトメンバー全員の想いが詰まった、盛沢山の内容に仕上がりました。



写真：古今日緬企画でJUNKO Associationの学生がノートを制作し現地へ届けました

3 タンリン僧院学校

タンリン僧院学校は、617名の子どもたちが通う小中一貫校です

タンリン僧院学校は、エインダカ僧侶が運営し、617名が通う幼稚園と小中一貫校です。私たちは、子どもたちが自由で柔軟な発想を持てるような交流を目指しています。現在は現地に行くことができないため、現地協力者の方々にご協力をいただき、定期的にオンラインで現地調査・交流を行っています。



僧院学校の経営難に際した募金活動を行いました

今年度2月10日から3月10日の1カ月間、タンリン僧院学校への募金活動を実施しました。2022年1月に現地協力者の方々の力を借り、現地とオンラインで面談することができました。その際、2021年2月のミャンマーにおけるクーデターの影響により、学校経営が大きく傾き、大変厳しい状況にあることが判明しました。そのため先生への給与を含む僧院学校経営を安定させることによる教育の場の確保と感染予防対策の強化という目的を設定し、学生主体で募金活動を行いました。541,108円の資金獲得を目標に資金を募りましたが、OBOGの方々をはじめとする多くの方々のご協力、ご支援によって1,413,425円集まりました。そして無事に現地協力者の方々のご協力のもと当法人の交流写真を入れた写真たてと寄付金をタンリン僧院学校へ届けることができました。

そして現在、私たちはタンリン僧院学校へ日本語教育を導入しようと計画を進めています。まずは子どもたちに日本について興味を持ってもらうことが第一だと考えています。最終的には日本語教育を通してタンリン僧院学校に通う子どもたちの将来の可能性を広げ、将来就職の場などで日本語を武器に子どもたちが活躍できるようになる第一歩にしてほしいと願っています。現地協力者の方々やタンリン僧院学校の先生方とも相談しながら、慎重に進めていきます。私たちはこれからもタンリン僧院学校の子どもの未来のために活動していきます。



 **1,413,425 円**
ご支援ありがとうございました

写真：エインダカ僧侶に写真たてと寄付金を手渡す様子



写真：僧院で子どもと一緒に工作する学生



4 図書館企画

Support fund (現地協力者)の方々とミーティングを行いました

今年度4月13日、ミャンマー・プロジェクトメンバーは、社会人理事、ミャンマー在住OBとともに、現地 Letpadan の Support Fund の方々とオンラインミーティングをしました。不安定な情勢が続く中、ミーティングへの参加して下さった Support Fund の方々にこの場を借りて深く感謝いたします。ミーティングでは、プロジェクトメンバーから Support

Fund の方々へ、現地の状況に関する質問や今後 JUNKO Association が子どもたちのために何ができるか、提案させていただきました。プロジェクトメンバーは、自分たちの思いを伝えることの難しさを感じながらも、改めて現地の方々とコミュニケーションをとることの重要性を実感し、これからの活動の原動力となるような時間でした。

Voice

支援に手応え。今後は長期的な視点で子どもたちの力になるコアな支援に努めたい。

今年度は、現地の状況に合わせて企画の修正・変更を何度も何度も繰り返し行ってきました。急速に変わる現地に対して現地協力者の皆様、OBOGの皆様のご協力・お力添えの下、活動することができました。また、2022年2月には多くの方にご協力いただき、タンリン僧院学校に寄附金を届けることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。後日、実際に寄附金によって先生方の給与が安定し、教育の場が保てているというお言葉を現地の方からいただいた際には、私たちの活

動・想いが伝わっていることを実感し、胸がいっぱいになりました。

しかし、現在、情勢に伴い連絡が取れていない学校の子どもの支援ができておらず、早期の現状把握・支援が必要です。今後ともミャンマー・プロジェクトでは常に短期派遣実施は視野に入れながらも、現地に寄り添い、かつ長期的な視点で子どもたちの力になるコアな支援ができるように努めてまいります。



ミャンマープロジェクト主任
社会学部社会学科2年

神作 海希

BUSINESS



伝統的な商品を現地で買い付け、販売しています

現地でのボランティア活動以外にも現地特有の商品を日本で販売するなどの活動をしています。ベトナムとミャンマーの伝統的な商品を現地で買い付け、オンラインストアや日本国内で開催するイベントなどで販売しています。ビジネスプロジェクトは、「新しい支援の形」を実現するために、日々新しい企画、新しい商品の開発に取り組んでいます。収益は、現地を支援する資金として使用します。

2022 年度販売協力店数

 **6** 店

2022 年度事業収益

 収益合計 **199,463** 円

イベント・小売販売・・・68,193 円
卸売販売・・・104,720 円
委託販売・・・26,550 円

2022 年度ビジネスプロジェクトメンバー

 学生 **14** 人



1 買付事業

ベトナムとミャンマーから商品を仕入れています

新商品は日本国内の協力店、白金祭等のイベントやオンラインストアで販売した他、広報活動の一環として明治学院コンテスト(11月3日実施)へ提供いたしました。



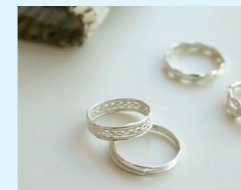
2 ネット販売事業

SNS 運営、商品写真撮影に力を入れています

JUNKO STORE と SNS の運営、商品の仕入れ、商品の写真撮影などに取り組みました。商品のバリエーション増加や定期的なセール開催など新しいことに挑戦し、幅広い世代にアプローチを行いました。またオンライン上で寄附が可能なチケットの販売を開始し、たくさんの方にご購入いただきました。今後は、認知度獲得のための広報活動にさらに力を入れ、JUNKO STORE を広げていきます。

JUNKO STORE

お土産やプレゼントにピッタリの雑貨を豊富なラインナップでご用意しています



シルバーリング

シルバー独特の高級感ある雰囲気でお手元が華やかになるリングです。普段使いからパーティー、フォーマルな場でもお使いいただけます。

900 円 (税込)



ベトナムピアス

ラメが入ったプレートをあしらったピアスです。落ち着いた色合いがシックな感じを出します。

1,300 円 (税込)



メッセージカード

ひまわり

手紙を開くとメッセージとひまわりが飛び出してくるカードです。精巧な紙細工で、ベトナムの職人さんが作っています。

600 円 (税込)



メッセージカード

ツリー

子どものころに読んだ、仕掛け絵本のような仕掛けのあるクリスマスカードです。

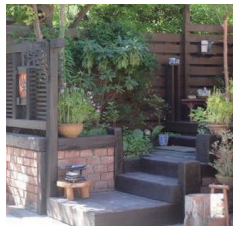
700 円 (税込)

売上は、ベトナム・ミャンマーの子どものための支援に使われます。

3 協力店事業



国内6つの販売協力店



RAKU

鎌倉の「器と雑貨」のお店です。食器や雑貨など「毎日の暮らしを楽しくする」魅力的な商品が揃っており、主にミャンマーのシェル商品を販売いただいています。



Point Weather

網島にある「横浜の旅」をコンセプトにしたカフェです。店内はとておしゃれて非日常を味わえます。主にシェルスプーンを販売いただいています。



デザインフィル

「旅するように毎日を過ごすための道具」をテーマにした雑貨を展開するお店です。主に、トラベラーズノートに添えるミャンマーのシェルボタンを購入いただいています。



パパテオ

大船にある完全予約制の「アジア料理」のお店です。現地で学んだ本物の味を、素敵な店主の方が全て手作りして出されています。販売委託店として約20年前からお付き合いいただいています。



CLASKA

日本の暮らしに映えるアイテムを集めたライフスタイルショップです。主にシェルクトラリーを販売していただいています。



ほれやあれ

高円寺にある雑貨カフェです。落ち着いたカフェで、常連さんたちで賑わっています。主にパチャン焼きを販売していただいています。

現在は6つの販売協力店と取引があります。2022年度は2つの協力店からオーダーをいただき、輸入にて商品を仕入れました。一部協力店においては訪問回数を増やし、積極的なアプローチを行うことができました。また、関係性構築や新しい商品の定期的な入れ替えを行ったことで販売数を増やすことが出来ました。コロナ禍における商品の入手方法を少しずつ構築できたため、他の協力店においても顧客層やお店のコンセプトに合った商品の提案を積極的に行い、収益の獲得に繋がっていきます。



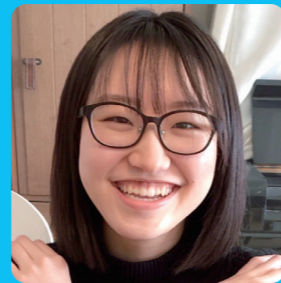
さらなる飛躍に向けて

2022年度は新型コロナの影響を受けながらも商品の仕入や対面販売など従来の活動を徐々に再開することができました。数年ぶりの活動も多く、大きな収益獲得には繋がっていませんでしたが、今後のさらなる飛躍に向けて準備を進めることができたと考えています。

また、2022年度の新たな取り組みとしてJUNKO STOREにて、寄附チケットの販売を開始いたしました。寄附の窓口を広げ資金

を獲得するだけでなく、広報活動の一環としての役割も担っています。

2022年度に引き続き、JUNKO STOREのさらなる認知度獲得や対面販売の積極的な参加を通じた事業収益の拡大に向けて精進していきます。今後ともみなさまの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



ビジネスプロジェクト主任
国際学部国際学科3年

後藤 すずか



活動を支える学生からのごあいさつ

託された想いをつなぎ、託される活動を目指して

コロナ禍にありながらも再スタートの年となった2022年度の会計部は、「託された想いをつなぐ」という志を持って活動してきました。

ベトナムおよびミャンマー・プロジェクトが行った募金活動を通して改めて感じる事ができた、1円1円に込められた「想い」を確実に子どもたちに還元すべく、予算管理の強化や団体内での財政意識改革に取り組みました。また、来年度以降も最大限の支援を届けられるよう、早期から

2023年度予算を準備してきました。

これからは、制約が解除され始め、より積極的な支援が可能になることが予想されます。私たち会計部は、今年度に引き続き「想いをつなぐ」だけにとどまらず、より多くの支援者の方に、私たちに「想いを託す」ことを選んでいただけるよう、進化を止めずに活動していきます。



会計部主任
国際学部国際キャリア学科3年

山田 理瑚

ベトナム派遣を通して感じた達成感と責任

2022年度は理事、OBOGの方々をはじめとする多くの皆様のご協力のもと、2年半ぶりに学生短期派遣を実施することができました。短期派遣参加者全員が無事に帰国することができ、現地の様子を肌で感じることができました。この記念すべき日に学生執行部員として、活動できたこと、大変光栄に思います。

約5カ月間、総務部メンバー全員が未経験である短期派遣の準備を主任としてリードしていくことは決して容易ではありませんでした。しかしながら、マニュアルを読

み込み、不明な点を積極的にOBOGの方々に聞き、総務部メンバー、執行部員に助けられ、成し遂げることができました。多くの困難をともに乗り越えたメンバーとダナン国際空港に到着した瞬間が忘れられません。

今後は今年度行った短期派遣準備を次世代に確実に引き継ぎ、長年の課題である法人業務の平準化にも取り組み、当法人を支える総務部の体制を強化していきます。



総務部主任
国際学部国際学科3年

栗原 小和

今あるつながりを大切に、多くの人へ想いを届けたい

2022年度の広報会員部は、体制を整えると同時に新たな可能性を模索した1年となりました。「つながり」を軸に、OBOGの方と学生との交流会を定期的開催したり、会員の皆様との連絡手段として公式LINEの導入に取り組んできました。

当法人がコロナ禍においても活動を続け、そして2年半ぶりに短期派遣を再開できたのは、ひとえに活動を支えてくださる皆様のおかげです。

2年半のオンライン活動を経た当法人にとって、来年度は大きな進化の一年になるでしょう。広報会員部として、私たちの想いを1人でも多くの方々に届けられるように、内外ともに可能性を最大限に広げた発信をしていきます。

今後ともご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。



広報会員部主任
社会学部社会学科3年

瀬尾 柚月

SUPPORT

支援のお願い

ベトナムとミャンマーの子どもたちの教育環境改善のために、ご協力をお願いいたします。ご寄附いただいた資金は子どもたちのための支援や一部運営のために使わせていただきます。

👤 会員として支援する

社会人正会員 5,000 円

賛助会員 5,000 円以上

特典

年度活動報告書を発行
年2回、機関誌「TIMES」を発行
公式LINEによる会員限定の情報発信

お振込先、お振込方法のご案内

〒 郵便振込

トクビ) ジュンコアソシエーション
口座番号: 00230-9-8995

🏦 銀行振込

ゆうちょ銀行 029 支店 当座: 0008995
トクビ) ジュンコアソシエーション

※お振り込みの際に手数料がかかりますのでご了承ください。
※ご寄附の際にはお名前をご明記ください。

📱 Syncable

クレジットカード決済または銀行振込

「Syncable」を通じた寄附を受け付けております。
ご自身の Syncable のアカウントを作成していただき、QR コードを読み取り、「寄付する」
ボタンのクリックをお願い致します。

Syncable <https://syncable.biz/associate/JUNKO>

＼ カンタン支援 /



写真: ベトナム KPA kolong の子どもたち

団体・企業の皆様

交流学校名

私立吉祥女子中学校・高等学校
 川崎市立橘高等学校
 私立横浜隼人高等学校
 私立山手学院高等学校
 私立森村学園中等部・高等部
 多摩大学付属聖ヶ丘中学校・高等学校
 横浜市立横浜商業高等学校
 横浜市立戸塚高等学校
 横浜市立みなと総合高等学校
 倉田小学校

支援団体・個人

かながわボランティア活動推進基金 21 / 社会法人東京キワニスクラブ / 任意団体横浜アクションプランナー / NPO 法人杉並文化村 / NPO 法人杉並子ども未来委員会 / 一般社団法人アジア婦人友好会 / NPO 法人もったないジャパン / 社会福祉法人救世軍 / 高野道郎メモリアルプロジェクト / 株式会社 JOBIA / 荒井枝美税理士事務所 / 明治学院大学ボランティアセンター / 明治学院大学校友会 / 明治学院大学学生会部 / 高橋廣太郎 / 小林きみよ / 三浦真知子 / JUNKO Association 学生メンバー保証人・同 OBORG

販売協力

グランフォーレ戸塚管理組合 / 中華街パーキング協同組合 / 株式会社クラスカ / パパテオ / ほれやあれ / RAKU / 株式会社デザインフィル / Point Weather / レストランフランセ / 社会福祉法人日本国際社会事業団 (ISSJ)

ベトナム社会主義共和国

Quang Nam 省
 Quang Nam 省教育事務所 (DOET) / Quang Nam 省奨学会 (LEA) / QuangNam 省 Dien Ban 郡 Dien Phuoc 社 / Dien Ban 郡奨学会 (LEA) / Dien Phuoc 村 People Committee / JUNKO 小学校 / Nguyen Thanh Y 小学校 / Tran Quy CAP 中学校 / Hoang Dieu 高等学校

Quang Nam 省 Hiep Duc 県 Phuoc Gia 社 Phuoc Gia 村
 People Committee / KPA Kolong 小学校本校 / KPA Kolong 小学校分校 1

Quang Nam 省 Hiep Duc 県 Song Tra 社
 Song Tra 社民族半寄宿舎中学校

ミャンマー連邦共和国

YANGON 管区 Thanlyn Township
 That Dahma Zaw Tika Kyaun 僧院学校

Bago 管区 Letpadan Township
 Letpadan No.1 Basic Education High School / Boys Training School / Hanther Aye 僧院孤児院

その他
 Yangon University of Foreign Language 日本語学科 / ミャンマー連邦共和国教育省 / Bago 管区教育事務所 J-Compass

協力者
 Dr.They Lwin (Myanmar-Japan Society 事務局長)

現地協力者

Nguyen Van Phuoc 氏 (ベトナム)
 Danang Youth Volunteer Group (ベトナム)
 U Tin Maung Oo 氏 (ミャンマー)
 Letpadan Support Fund (ミャンマー)
 JUNKO Japan-Myanmar Scholarship Foundation (ミャンマー)
 郡司義貴氏 (ミャンマー)
 島津夕季 (ミャンマー)

活動計算書

特定非営利活動法人
 JUNKO Association

2021年11月1日から2022年10月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	金 額	金 額
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員及び賛助会員受取会費		520,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金		1,773,609	
3. 受取助成金等			
受取事業復活支援金等	1,026,266	1,026,266	
4. 事業収益			
(1) 教育支援・文化交流・派遣事業	0		
(2) 国内啓発事業	0		
(3) 雑貨買付・国内販売事業	186,880	186,880	
5. その他収益			
(1) 受取利息	50		
(2) 為替差益	75,310		
(3) 雑収益	5,388	80,748	
経常収益計			3,587,503
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費	0		
(2) その他経費			
売上原価	42,345		
諸謝金	74,086		
通信運搬費	35,848		
印刷製本費	57,688		
旅費交通費	14,256		
消耗品費	3,106		
地代家賃	184,845		
出店費	18,000		
支払助成金	1,541,080		
支払寄付金	70,720		
租税公課	7		
支払手数料	148,444		
為替差損	0		
雑費	2,680		
その他経費計	2,193,105		
事業費計		2,193,105	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費	0		
(2) その他経費			
諸会費	35,100		
支払報酬料	349,388		
租税公課	0		
支払手数料	4,052		
その他経費計	388,540		
管理費計		388,540	
経常費用計			2,581,645
当期経常増減額			1,005,858
III 経常外収益			
IV 経常外費用			
1. 雑損失		118,050	
経常外費用計		118,050	
税引前当期正味財産増減額			887,808
法人税・住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			817,808
前期繰越正味財産			7,008,937
次期繰越正味財産			7,826,745

貸借対照表

2022年10月31日現在

特定非営利活動法人
JUNKO Association

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	6,623,222	
売掛金	3,600	
商品	475,552	
貯蔵品	207,395	
前渡金	495,075	
前払金	239,200	
前払費用	21,165	
未収入金	5,000	
仮払金	20,000	
流動資産合計		8,090,209
2. 投資その他の資産		
差入保証金	12,000	
投資その他の資産合計		12,000
資産合計		8,102,209
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	24,380	
未払法人税等	70,000	
前受金	10,000	
預り金	171,084	
流動負債合計		275,464
負債合計		275,464
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		7,008,937
当期正味財産増減額		817,808
正味財産合計		7,826,745
負債及び正味財産合計		8,102,209

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価

商品は原価法により評価しています。
貯蔵品（受け入れ寄付物品等）は時価により評価しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	教育支援・文化交流・学生会員派遣	国内啓発(開発教育)	雑貨買付・国内販売	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益						
1 受取会費						
正会員・学生		370,000		370,000		370,000
正会員・社会人		90,000		90,000		90,000
賛助会員		60,000		60,000		60,000
2 受取寄付金						
受取寄附金		1,773,609		1,773,609		1,773,609
3 受取助成金等						
受取助成金				0		0
受取事業復活支援金等	17,247	919,030	89,989	1,026,266		1,026,266
4 事業収益						
イベント・小売販売			34,100	34,100		34,100
卸売販売			104,720	104,720		104,720
委託販売			26,550	26,550		26,550
ネット販売			21,510	21,510		21,510
5 その他収益						
受取利息			50	50		50
為替差益	37,655		37,655	75,310		75,310
雑収益	5,388		0	5,388		5,388
経常収益計	60,290	3,212,639	314,574	3,587,503	0	3,587,503
II 経常費用						
売上原価			42,345	42,345		42,345
諸謝金	74,086			74,086		74,086
旅費交通費			14,256	14,256		14,256
通信運搬費	1,500	31,732	2,616	35,848		35,848
印刷製本費	640	56,808	240	57,688		57,688
消耗品費		2,556	550	3,106		3,106
広告宣伝費				0		0
地代家賃			184,845	184,845		184,845
出店費			18,000	18,000		18,000
会場費				0		0
支助助成金	1,541,080			1,541,080		1,541,080
支払寄附金	70,720			70,720		70,720
現地交流費				0		0
支払手数料	985	145,419	2,040	148,444	4,052	152,496
租税公課			7	7		7
諸会費				0	35,100	35,100
支払報酬料				0	349,388	349,388
雑費	2,000		680	2,680		2,680
経常費用計	1,691,011	236,515	265,579	2,193,105	388,540	2,581,645
当期経常増減額	△ 1,630,721	2,976,124	48,995	1,394,398	△ 388,540	1,005,858
III 経常外収益						
IV 経常外費用						
1 雑損失			118,050	118,050		118,050
経常外費用計			118,050	118,050		118,050
税引前当期正味財産増減額	△ 1,630,721	2,976,124	△ 69,055	1,276,348	△ 388,540	887,808
法人税・住民税及び事業税			70,000	70,000		70,000
当期正味財産増減額	△ 1,630,721	2,976,124	△ 139,055	1,206,348	△ 388,540	817,808

定款上の「教育支援事業」「文化交流事業」「学生会員派遣事業」は、日本国外において事業活動を行うことから、これらをまとめて「教育支援・文化交流・学生会員派遣」として表示しています。

財 産 目 録

2022年10月31日現在

特定非営利活動法人
JUNKO Association
(単位：円)

科 目	金 額	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手許現金 (円)	23,950	
手許現金 (アメリカドル) USD3,072.00 (為替レート128.86円)	223,427	
手許現金 (ベトナムドン) VND5,470,800 (為替レート0.00570円)	5,854	
手許現金 (ミャンマーチャット) MMK418,148 (為替レート0.0700円)	29,604	
普通預金 三菱UFJ銀行戸塚支店	5,371,802	
普通預金 三菱UFJ銀行戸塚支店 (緊急時積立金口座)	167,000	
郵便振替口座 ゆうちょ銀行 (たかじゅん基金)	801,585	
売掛金		
Stores売上(ネット販売)	3,600	
商品		
食器等 (倉庫管理品)	220,607	
小物類 (倉庫管理品)	40,229	
布製品 (倉庫管理品)	45,394	
アクセサリ (倉庫管理品)	44,271	
メッセージカード (倉庫管理品)	123,895	
その他	1,156	
貯蔵品		
寄付物品 (子供服150着他)	207,395	
前渡金		
ガンダマール商品仕入れ代金	495,075	
前払金		
JUNKO像建設建設費用一部前払い(VND40,000,000)	239,200	
前払費用		
前払家賃 倉庫賃借料11月分	21,165	
未収入金		
JUNKO像建設寄付チケット Stores	5,000	
仮払金		
おつり用小口現金未精算	20,000	
流動資産合計		8,090,209
2 投資その他の資産		
差入保証金		
倉庫賃借契約	12,000	
投資その他の資産合計		12,000
資産合計		8,102,209
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
白金祭出展料他立替経費	23,950	
Stores売上(ネット販売) 決済手数料 ハイ株式会社	430	
未払法人税等		
法人税及び住民税	70,000	
前受金		
2022年度 正会員会費 (2名)	10,000	
預り金		
春・夏短期派遣時の緊急時積立金	167,000	
源泉所得税	4,084	
流動負債合計		275,464
負債合計		275,464
正味財産		7,826,745

監査報告

2022年12月10日

特定非営利活動法人 JUNKO Association
理事長 小島 英太郎殿

監事 東樹 康雅
監事 濱田 憲和

私達は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人 JUNKO Association の2022年度(2021年11月1日から2022年10月31日まで)の事業報告書および財務諸表(活動計算書および貸借対照表、財産目録)について監査を行った。

私達は、理事の職務執行の状況に関する監査にあたっては、理事会議事録や総会議事録等を参照し必要な質問を行った。また、経営の状況に関する監査にあたっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問などの合理的な保証を得るための手段を行った。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって私達は、上記の企業報告及び財務諸表が、特定非営利活動法人 JUNKO Association の2022年度10月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認められる。

以上

理事・幹事・顧問

理事長 小島英太郎
副理事長 林公則 松岡良樹
専務理事 赤根夏実
理事 黒滝颯一郎 渡邊晃仁 長澤弘樹 石坂清太郎
学生理事 阿部雄也 北島望 篠塚俊輔
監事 東樹康雅 濱田憲和
顧問 江橋正彦・U Tin Maung Oo

編集・デザイン

編集責任者 小島英太郎
デザイン 小島悠太郎

2022 ANNUALL REPORT

JUNKO

Association

学生連絡先

〒 224-8539
神奈川県横浜市戸塚区上倉田町 1518
明治学院大学 学生部 気付
公認団体 明治学院大学 JUNKO Association

法人事務所

〒 248-0014
神奈川県鎌倉由比ガ浜 3-7-3
TEL : 0467-23-6660
MAIL : junko.association.sr@gmail.com

最新情報を
チェック



Instagram



WEB

JUNKO STORE
Asian Household Goods



Instagram



WEB